

## 江本義数\*・加藤君雄\*\*：秋田県産の変形菌 3\*\*\*

Yoshikadzu EMOTO\* &amp; Kimio KATO\*\*：Myxomycetes found in Akita Prefecture 3\*\*\*

## Lycogalaceae

36. *Lycogala Epidendrum* Fries, Syst. Myc. 3, 80, 1829; Lister, Monogr. ed. 3, 199; 江本 l. c. 167.

著合子囊体はほぼ球形、直径 5~7 mm 黄褐色、表面に密に疣状突起がある。擬細毛体は皮層の内部から生じ、分岐纏絡するうすい細管で密な横皺があり、その先端は棍棒状に膨む。胞子は球形、無色、表面には網目構造がある、直径 5~7 $\mu$ 。——Hab. ハンノキの腐朽木上。大曲. 24, V, 1955; スギの腐朽木上。乳頭黒湯. 17, VII, 1955; プナの腐朽木上。栗駒山麓. 15, VII, 1957.

## Trichiaceae

37. *Trichia Botrytis* Persoon in Roemer, N. Mag. Bot., 1, 89, 1794; Lister, Monogr. ed. 3, 212; 江本 l. c. 178.

胞子囊は有柄、独楽形、直径 0.6~0.8 mm 黄褐色、群生する。子囊壁は2層からなり、外膜は顆粒質を含んで子囊柄に連なり、内層は膜状で透明である。子囊柄は紫褐色、長さ 0.3~0.4 mm、細毛体は円柱状で黄褐色の弾糸となり、先端が次第に細くなる。弾糸の表面は数本に隆起して螺旋帯をなし、先端は細くなる。胞子は球形、暗黄色、表面には密な疣状突起がある、直径 9~12 $\mu$ 。——Hab. 腐朽木上。角館. 6, VIII, 1955.

38. *Hemitrichia clavata* Rostafinski, Versuch, 14, 1873; Lister, Monogr. ed. 3, 211; 江本 l. c. 185.

胞子囊は有柄、独楽形、高さ 1.2~1.5 mm 黄色、群生する。上部は破れ易く、下部は盃状体となり乳頭突起を有する。子囊柄は円柱状、長さ 0.5~1 mm 内部に胞子状の細毛を充し、表面に皺を有し赤褐色、細毛体は黄褐色、分岐し紐は数本の螺旋帯からなる。胞子は球形、黄色、表面に疣状突起がある。直径 8~11 $\mu$ 。——Hab. スギの腐朽木上。駒ヶ岳山麓. 17, VII, 1955; 腐朽木上。仁別. 28, VII, 1955; 腐朽木上。角館中川. 7, VIII, 1956; 腐朽木上。院内. 21, X, 1956.

39. *Hemitrichia serpulula* Rostafinski, Versuch, 14, 1873; Lister, Monogr. ed. 3, 224; 江本 l. c. 188.

\* 学習院女子短期大学微生物学研究室。Microbiological Laboratory, Gakushuin Junior College for Women, Shinjuku, Tokyo.

\*\* 秋田大学々芸学部生物学教室。Biological Institute, Faculty of Gakugei, Akita University, Akita.

\*\*\* 学習院女子短期大学微生物学研究室業績。Contribution from the microbiological Laboratory of Gakushuin Junior College for Women. No. 5.

秋田大学々芸学部生物学教室業績。Contribution from the Biological Institute, Faculty of Gakugei, Akita University. No. 11.

孢子嚢は長く彎曲し、蟠曲子嚢体をつくり、幅約 0.4 mm、網状となり、黄褐色の変形膜を具える。子嚢壁は2層からなり、外層は膜状、内層には微かに網目模様がある。細毛体は黄色、分岐纏絡して弾性ある網状体をつくる。紐には4本の螺旋帯があり、刺状突起を具える。胞子は球形、黄色、表面に網目模様がある、直径  $10\sim 13\mu$ 。——Hab. 腐朽木上。大曲. 15, VIII, 1955; クリの腐朽木上。湯沢. 25, VIII, 1957.

#### Arcyriaceae

40. *Arcyria cinerea* Persoon, Syn. Meth. Fung., 184, 1801; Lister, Monogr. ed. 3, 231; 江本 l. c. 192.

孢子嚢は有柄、楕円形、直径  $0.4\sim 0.8\times 1.0\sim 2.2$  mm 灰白色、群生する。盃状体は膜状、平滑である。子嚢柄は灰白色、円柱形、長さ  $0.5\sim 0.8$  mm。細毛体は盃状体に付着し、黄灰色、纏絡して網状体となる。紐の表面には密に刺状突起がある。胞子は球形、無色、表面に疣状突起がある。直径  $6\sim 8\mu$ 。——Hab. 腐朽木上。角館中川. 7, VIII, 1955; スギの腐朽木上。仁別. 28, VII, 1955; スギの腐朽木上。大曲. 2, VI, 1956; スギの腐朽枝上。院内. 21, X, 1956; 腐朽木上。大湯鉛山. 28, IX, 1957.

41. *Arcyria demudata* Wettstein in Verh. Zool Bot. Ges. Wien, **36**, 585, 1886; Lister, Monogr. ed. 3, 235; 江本 l. c. 194.

孢子嚢は有柄、円柱形、長さ  $1.2\sim 1.6$  mm 淡紅色、群生する。盃状体は膜状で光沢がある。子嚢柄は円柱形、高さ  $0.5\sim 1.0$  mm 皺を有して赤褐色。細毛体は密な弾性性の網状体からなり、紐は円筒形、淡赤色、表面に刺状突起が螺旋形に配列され、盃状体に付着する。胞子は球形、淡赤色、表面平滑、直径  $6\sim 8\mu$ 。——Hab. 腐朽木上。大曲. 2, VII, 1955; 腐朽木上。駒ヶ岳山麓. 19, VII, 1955; スギの腐朽木上。仁別. 28, VII, 1955.

42. *Arcyria Oerstedtii* Rostafinski, Monografia, 278, 1875; Lister, Monogr. ed. 3, 239; 江本 l. c. 199.

孢子嚢は有柄、円筒形で彎曲し、長さ  $0.8\sim 1.3$  mm 暗紅色、群生する、うすく無色の変形膜を具える。子嚢壁は上部が破れ易く、盃状体は膜状で微かに網目構造と乳頭状突起が散在する。子嚢柄は淡赤色、短く繊細である。細毛体は淡赤色の紐からなり、纏絡して網状体をつくる、紐の表面には刺状突起がある。胞子は球形、淡赤色、表面平滑、直径  $6\sim 8\mu$ 。——Hab. 腐朽木上。大曲. 15, VIII, 1956; 腐朽木上。栗駒山麓. 15, VII, 1957.

43. *Arcyria nutans* Greville, Fl. Eding. 455, 1824; Lister, Monogr. ed. 3, 239; 江本 l. c. 198.

孢子嚢は有柄、円柱形、長さ  $1.1\sim 1.5$  mm 黄褐色、群生する。子嚢壁は膜状で破れ易く、盃状体は膜状で軟弱である。子嚢柄は短く、 $0.1\sim 0.3$  mm 淡黄色。細毛体は弾

力性にとみ、淡黄色、扁平な紐からなる。紐の表面には刺状突起が密生する。胞子は球形、淡黄色、表面平滑、直径  $6\sim 8\mu$ 。——Hab. 腐朽木上、田沢湖畔、19, VII, 1955.

### 文 献

- 1) 江本義数：日本産変形菌 (I-XX) 植雑. **45-50** (1931-'36) 2) ————  
北海道産変形菌 植雑. **52**, 160-164 (1938) 3) ———— 大日本植物誌 **8**. 変形菌  
(1942) 4) 原 摂祐：日本粘菌目録 (1941) 5) 南方熊楠；現今本邦に産すると  
知られた粘菌類の目録 植雑 **41**, 41-47 (1927) 6) 長尾チエ：八甲田山及び其の付近  
の変形菌 生態研 **14** (1) 29-33 (1955) 7) Lister, A. et G. Lister: A Monograph  
of the Mycetozoa ed. 3 (1925).

### Résumé

On the slime moulds found in Akita Prefecture, we have few reports. Since June, 1955, the writers have collected these kinds of moulds in the eastern mountain region, in the southern district of central basin, and in the forests of the Dewa plateau of the Prefecture. 10 families, 19 genera, 37 species and 6 varieties were known in this study and enumerated.

We wish to investigate the materials from other places in the Prefecture hereafter.

□北村四郎補 岡本省吾著：原色日本樹木図鑑 保育社 昭和 34 年 1 月 15 日 発行 A 5  
図版 68 解説其他 306 頁 挿図 70 定価 1500 円

本書は保育社の企画にかゝる、原色図鑑 24 巻の内の 1 巻で、既刊草本編合弁花類の姉妹篇で、栽培品を含めて約 1000 種の本木を収めている。各図版はそれぞれ 6 個の原色図からなり、全図版を通して 451 種に達し、更に解説中の 70 個の挿図で補っている。巻頭には序の次に図鑑の使い方の項をおき、解説は 244 頁からなり、分類順に編纂され、各科ごとに科の特長を記し次にその科中の属の検索表をおき、その次に各種の記録、分布等を記し、かつ種と種との比較を試み、分布の限界を示している。また各属の下には英、仏、独、中などの名称または近似名を並記している。巻尾には「樹木の解説」(附参考目録)と「樹木の開花期と果実の成熟期」の表を附しておき著者の編集の用意と苦心のほどがうかがわれる。なお箱ばりの表側には利尻島のトドマツ林、裏側にはイトザクラの満開を、カバーにはハリギリの材のもくめを地にして、イワナンテンを、表紙には大台原中腹トガサワラ、ツガ、ヒメシヤラからなる林相の写真を、見返しには仏経ヶ岳のシラビソ、トウヒの林相とサワラを配し、扉は島根県大浦海岸のクロマツを見せているので、これらは本文とともに参考になる。草類偏重の図鑑の多いとき、樹木だけを扱った本書の出現はまことに喜ばしい。(久 内)